

ページ番号  
1009035

# 確定申告・市県民税 申告をお願いします

市民税課  
(本庁舎1階)☎0538-37-4826  
FAX 0538-33-7715

2月16日～3月16日に必ず申告を

令和7年1月1日から12月31日までの1年間の所得に対する課税額を計算するため、収入や必要経費および控除などを申告する必要があります。

確定申告の詳細は、国税庁ホームページをご覧ください。電話番号0538-32-6111 自動音声案内で「0番」を選択へお問い合わせください。

市県民税申告の詳細は、市ホームページをご覧ください。市民税課へお問い合わせください。

## 申告が必要な方

### 確定申告

次のいずれかに該当する方で、納税が必要になる方

- 公的年金を受給している方で、令和7年中の公的年金以外の所得が20万円を超える方
- 給与の収入金額の合計額が2千万円を超える方

### 市県民税申告

次のいずれかに該当する方

- 公的年金などの収入金額が400万円以下、かつ公的年金などに係る雑所得以外の所得金額が20万円以下で、確定申告をしない場合でも、市県民税の算定において各種控除（扶養控除、医療費控除など）を追加する方
- 自営業の方、不動産所得のある方、土地を売った方で、所得税の確定申告をする必要がないが所得がある方
- 給与以外の所得がある方（所得税と違い、給与以外の所得が20万円以下でも申告が必要です）
- 令和7年中に所得がなかったが、所得に関する証明や各種申請手続きなどが必要な方

## 申告書作成・提出の方法

### 確定申告

- 自宅からのe-Tax（電子申告）※スマートフォン、パソコンから簡単に申告することができます
- 名古屋国税局業務センター浜松西分室（〒430-8584 浜松市中央区中央1-12-4 浜松合同庁舎）への郵送※「内部事務のセンター化」により、書面で提出する場合は、業務センターへ郵送してください

## 申告会場への持ち物

- 申告書を申告会場で作成する方は、次の書類などを持参してください。
- ◆は確定申告・市県民税申告で共通の持ち物です。★は市県民税申告の方には不要です

### 市県民税申告

- 確定申告会場でスマートフォンなどを使用して申告
- 市役所の市県民税申告会場に設置の提出箱へ直接提出

- 市役所市民税課（〒438-8650 国府台3-1）へ郵送
- 市役所の市県民税申告会場に設置した提出箱へ直接提出
- 市県民税申告会場で申告

※申告書用紙は、市役所または各支所で購入するかホームページから作成・印刷もできます。また前年の申告状況から対象と思われる方に2月上旬ごろに案内を発送します

※令和8年度申告（令和7年分の収入の申告）より、スマートフォンやパソコンから、マイナポータルを経由して、個人住民税の電子申告が可能になりました

◆マイナンバーに関する書類

(次のうち、どちらか一つ)

①マイナンバーカード

※発行時に設定したパスワード(パスワードの有効期限をご確認ください)

署名用電子証明書(英数字6桁~16桁)

利用者証明用電子証明書(数字4桁)

※パスワードをお忘れの方は、コンビニのキオスク端末で初期化、再設定できます

※電子証明書の有効期限が過ぎている場合は、住民票のある市区町村で事前に更新手続きをお願いします

②番号確認書類と身元確認書類

※番号確認書類はマイナンバーの記載がある住民票の写しなど

※身元確認書類は運転免許証、パスポートなど

◆源泉徴収票(給与や公的年金の所得があった方)

◆支払調書(報酬の所得があった方)

◆事業所得(営業・農業など)、不動産所得などの収支計算をしてある収支内訳書

◆国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料などの支払い額が確認できるもの

◆国民年金、生命保険料、個人年金保険料、地震保険料などの控除証明書

◆寄附金の領収書など(ふるさと納税ワンストップ特例制度を利用している方も、申告する場合は領収書が必要です)

◆障害者控除を受ける場合は、障害等級などが確認できるもの

◆医療費控除を受ける場合は、医療費控除の明細書(高額療養費の給付を受ける方は申請後に申告してください)

※領収書の添付または提示では、医療費控除の適用はできません。医療費の領収書を基に医療費控除の明細書を事前に作成し、申告時に持参してください

◆配偶者控除や扶養控除を受ける場合は、配偶者などの所得が分かる書類

◆雑損控除を受ける場合は、被害を受けた住宅、家財などの資産の明細や保険金などの金額が分かるもの、罹災証明書、災害などに関連してやむを得ない支出をした金額についての領収書

★住宅借入金等特別控除を受ける場合は、その必要書類

★所得税の還付を受ける場合は、金融機関の預貯金口座番号が分かるもの

★電卓と筆記用具

★スマートフォン

★自宅のパソコンで市県民税の試算と申告書の作成ができます

2月2日(月)から市ホームページで、給与や公的年金の源泉徴収票などを基に収入や控除などを入力すれば、市県民税申告書の作成や税額の試算ができます。作成済みの申告書を提出される方は、資料を添えて提出してください。

申告会場では内容の確認は行いませんのでご注意ください。

確定申告の会場と開催日

※駐車場の開錠時間は午前8時です。開錠前の入口周辺道路での駐停車は、近隣住民の迷惑となりますのでご注意ください

会場	開催日	開設時間
福田中央交流センター	2月16日(月)~ 3月16日(月) ※土・日曜日、祝日を除く	午前9時~午後5時

- ・入場には、**入場整理券**(指定された日時のみ入場可能)が必要です。入場整理券は当日の午前8時30分から午後4時までで会場で配付します(定員に達した時点で配付終了)。LINEでの事前入手もできますので詳しくは国税庁ホームページをご覧ください
- ・会場の状況などを福田中央交流センターへ問い合わせることはご注意ください

国税庁 LINE  
公式アカウント▶



市県民税申告の会場と開催日

※支所会場開催日は、市役所(本庁舎)での申告受付は行いません  
※市役所および支所では、確定申告書の作成相談は行いません

会場	開催日	開設時間
市役所(本庁舎) 1階第1会議室	2月16日(月)~ 3月16日(月) ※支所開催日、土・日曜日、祝日を除く	午前9時~11時30分 午後1時~4時30分
竜洋支所	3月3日(火)	午前9時~11時30分 午後1時~3時
福田支所	3月4日(水)	
豊岡支所	3月5日(木)	

- ・受け付けは先着順とし、会場内の人数制限をさせていただきます。市民ホールや車内でお待ちいただくことがありますので、防寒対策を行った上でお越しください。なお、混雑状況により、やむを得ず受け付けをお断りさせていただく場合があります
- ・一部事前予約を受け付けます。(支所会場の予約はできません。直接会場にお越しください)  
右記の二次元コードからアクセスし、予約してください

事前予約▶



ページ番号  
1001845

# 令和7年度いわた高校生 まちづくり研究所

政策推進課  
(本庁舎4階)☎0538-37-4805  
FAX 0538-36-8954

「研究テーマ『これからずっと  
住み続けたいまち、いわたをつくろう!』」

市は、高校生の柔軟な発想と創意工夫を生かして、市が抱える課題の解決や事業の推進を図るとともに、将来のまちづくりを担うべき人材の育成を目指して「いわた高校生まちづくり研究所」(高校生企画提案事業)を実施しています。高校生からの提案は、これまでに30以上事業化しています。

本年度は、市内全6校から7グループ57人が参加しました。

各グループは、提案の説得力を高めるため、地域の企業やお店へのインタビュー・アンケート調査、試作品の製作、イベントへの参加など、調査研究活動に取り組みました。

## 企画提案発表会

11月22日(土)、ワークピア磐田で企画提案発表会を行い、見事最優秀賞に輝いたのは「磐田の魅力伝えるランチョンマット」を提案した「いわたひろめ隊(磐田



北高校)でした。高校生が推す市内のスポットを載せたランチョンマットを製作し、市内の飲食店や施設に置くことで、待ち時間を磐田の魅力を知る時間に変えるという提案です。

その他のグループからは、公共施設の新しい活用方法に関する提案や特産品に着目した提案などがありました。

## 最優秀賞グループコメント

今回の活動で、自分たちの考えがランチョンマットという形になり、誰かに届くことを実感できました。とてもうれしく思います。この経験を経て、磐田の良さを広めたいという思いが、より一層強まりました。(栗本紗名さん)



最優秀賞グループ  
「いわたひろめ隊(磐田北高校)」

## 講師講評

今年度の研究所では、「主観と客観を区別して考えること」と「実際に試すこと」の2点を特に強調しました。実践を踏まえ、インパクトのある提案をされた高校もあり、大変印象深かったです。これからの時代は、高校生が主役となり、大人とともにまちづくりに取り組むことが大切です。参加された皆さんには、今後さまざまな場面でまちづくりに参加いただきたいと思います。



NPO法人  
わかものまち  
どい  
土肥潤也さん

受賞名・チーム名	高校名	提案内容
最優秀賞 いわたひろめ隊	磐田北高校	<b>高校生のおすすめスポットを載せたランチョンマット</b> 高校生がおすすめする市内のスポットを掲載したランチョンマットや磐田駅から歩けるカフェマップを作成し、市内の飲食店や公共施設に置くことで、退屈な待ち時間を磐田の魅力を知る楽しい時間にする。
優秀賞 サイリウム	磐田北高校	<b>公共施設の新しい活用方法</b> 使われなくなった公共施設に着目し、ドッグランなどを設置したパットと楽しめる施設や体験型宿泊施設として整備することで、市内外から人を呼び込む。
優秀賞 特殊部隊グランメゾン磐西	磐田西高校	<b>新たな特産品「養殖エビ」の魅力発信</b> 美味しくサステナブルな「陸上養殖エビ」について学んだり、体験できるイベントの開催や施設をつくり、磐田市の新たな特産物としての知名度を上げる。



# 次世代を担う人材獲得に 取り組む企業を応援

経済観光課  
(西庁舎1階)

☎0538-37-4819

FAX 0538-37-5013

高校生に仕事や企業の魅力を伝えませんか？

## 高校生と企業を結ぶ交流授業

市は、企業が学校へ出向き、働くこと  
のやりがいや企業の魅力などを伝える  
ことにより、地元企業への関心や職業観  
を高めることを目的とした事業を行って  
います。

対象企業（4月に募集予定）

市内に事業所を有する企業

内容

市内高等学校の1～2年生との交流  
交流授業の実施時期  
各学校の予定により10月～3月ごろ

## 高校生インターンシップ制度

市は、地元就職促進を目的として、  
高校生の就業体験事業を支援しています。  
対象企業（随時募集）

市内に事業所を有する中小企業など  
実施方法

就活情報サイト「磐田de」に登録後、  
参加企業の情報が掲載されます。高校  
生や教員が企業を探し、教員が企業に

問い合わせ、条件が合えばインターンシ  
ップを実施します。



▲専用サイト  
磐田de

## 講師派遣事業

市は、企業の取り組みや働く方の生き  
方・職業観を子どもたちに伝える事業を  
行っています。

対象者（随時募集）

市内で起業された方やお勤めの方

内容

市内小学校・中学校・高等学校（小  
学5年生～高校3年生）への講義  
講義の実施時期

随時（学校が講師一覧を参考に講師へ  
連絡し、日程などを調整します。）

※各事業の詳細は、市ホームページをご  
確認ください

# 障がい者の緊急時支援 事前登録を受付中

福祉相談課  
(i プラザ3階)

☎0538-37-4919

FAX 0538-36-1635

緊急時に備えて事前登録しませんか？

市では、障がいのある方が介護者の  
急病や入院などで1人で過ごせない場  
合に、短期入所施設などを円滑に利用  
していただくため、事前登録制度を実  
施しています。

緊急時にも慌てず対応できるよう、  
事前登録をお願いします。

登録対象者

市内在住の18歳以上で、次のいずれ  
かに該当する方

- ① 身体障害者手帳、療育手帳又は精神  
障害者保健福祉手帳をお持ちの方
- ② 精神障がい、発達障がいと診断され  
た方
- ③ 指定難病と診断された方

## 登録するメリット

- ① 緊急時に円滑な支援が受けられる
- ② 本人や家族の安心感につながる

## 事前登録

Q & A

登録するには？

A 障害福祉サービスを利用している  
方は、担当の相談支援専門員に相  
談してください。利用していない  
方は福祉相談課障がい福祉グルー  
プへ相談してください。

登録する内容は？

A 現在の状況、障がい特性、服薬情  
報、緊急時の連絡体制などです。  
登録する内容は相談支援専門員な  
どと確認しながら進めていきます。

A Q 登録すると受けられる支援は？  
緊急時に登録していただいた情報  
を基に、一時的な受入施設の調  
整・手配など、円滑な支援が受け  
られます。

※大規模災害時は、支援の対象外

ページ番号  
1001468

# 資源ごみは 集団回収でリサイクル

ごみ対策課  
(磐田市クリーンセンター内)☎0538-37-4812  
FAX 0538-37-9797

身近なリサイクル活動を始めてみませんか？

## 資源集団回収とは

自治会や子ども会・PTA・その他  
営利を目的としない団体など、地域の  
皆さんが家庭から出る再生利用可能な  
資源を集め、契約した資源回収業者に  
引き渡すリサイクル活動です。

## 資源回収のメリット

- ・ごみを資源として有効活用できる
- ・リサイクルすることで、家庭ごみの減  
量につながる
- ・売却金や奨励金は団体の活動費とし  
て活用できる

## 古紙等資源集団回収事業奨励金とは

市は事前に登録した団体に対し、回  
収した資源物の売却金とは別に、市から  
収集量1kgにつき4円を奨励金として団  
体に交付します。奨励金の対象品目は、  
古紙（新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック・  
シュレッダー紙）、空き缶、古布、空き  
ビンです。

## 令和6年度の回収実績

令和6年度は、資源集団回収によって、  
113団体から、合計約1147トンの  
資源物を回収しました。



▲電子申請

## 団体の登録方法

奨励金を受けるには、事前に団体登  
録が必要です。「古紙等資源集団回収団  
体登録申請書」をごみ対策課へ提出し  
てください。申請は、市ホームページ  
から電子申請するか、ごみ対策課へお  
問い合わせください。

ページ番号  
1015984

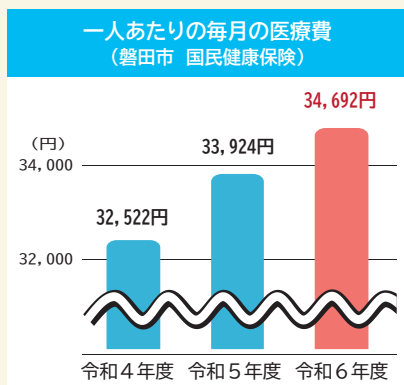
# 国民健康保険 健康管理で医療費節約

国保年金課  
(本庁舎1階)☎0538-37-4833  
FAX 0538-37-4723

ご自身の医療費を確認してみませんか？

## 年々増える医療費

令和6年度の磐田市国民健康保険の  
医療費分析を一部抜粋してお知らせし  
ます。医療費を節約することで、将来  
的な国民健康保険税の増加を抑えるこ  
とにつながります。



【令和6年度国民健康保険事業状況報告書より集計】

※詳しくは、左記二次元コードから  
ご確認ください

▲令和6年度  
医療費分析

## 医療費の確認方法

マイナンバーカードをお持ちの方は、マ  
イナポータルからご自身の医療費を確認で  
きます。また、医療費通知でも確認できま  
す。なお、国民健康保険の11・12月診療分  
の医療費通知は3月上旬に送付予定です。  
※マイナポータルに関するお問い合わせは、  
マイナンバース総合フリーダイヤル(☎  
0120-95-0178)へ

▲マイナ  
ポータル

## ジュビロ磐田

## メモリアルマラソンを開催

磐田路をランナーたちが駆け抜けました

スポーツのまち推進課  
(本庁舎2階)

☎0538-37-4832

FAX 0538-37-5034

11月30日(日)、磐田市を代表するイベントの一つ「第28回ジュビロ磐田メモリアルマラソン」が開催されました。大会スローガン「笑顔で磐田をうめつくせ!」のもと、市内外から約6600人のランナーが出場し、秋の磐田路を駆け抜けました。

今大会はジュビロ磐田の阿部航斗選手が3kmコースのスターターを務めたほか、磐田市市制施行20周年を記念してOBの太田吉彰さん、成岡翔さんがランナーと一緒にコースを走りました。また、OBの武田修宏さん、福西崇史さんによるトークショーも行われ、大いに会場を盛り上げてくれました。

当日従事していただいた約2500人のボランティアの方々や、沿道から拍手で応援いただいた市民の皆さんなど、多くの方々のおかげで、無事大会を終えることができました。広範囲にわたる交通規制へのご理解も含め、心より感謝申し上げます。来年もぜひご参加ください。



## しずおか市町対抗駅伝 市の部11位

ふるさとの誇りを胸に襷をつなぎました

スポーツのまち推進課  
(本庁舎2階)

☎0538-37-4832

FAX 0538-37-5034

第26回静岡県市町対抗駅伝競走大会が、12月6日(土)に開催されました。各チームの第1走者が午前10時に県庁前をスタートし、静岡県草薙総合運動場陸上競技場までの42.195kmを12人で襷をつなぎました。

磐田市チームは現地に駆けつけた応援団の支援を受けながら、どの選手も力強く駿河路を駆け抜けました。2時間17分42秒と市の部11位でゴールしました。13位だった前大会よりも大幅に記録を伸ばし、敢闘賞を受賞しました。

第7区の温井康太選手が市の部の区間賞を獲得する快走を見せるなど、どの選手も今までの練習の成果を発揮し、襷に思いを込めて走りました。



▲一斉にスタートする選手たち

7区区間賞を獲得した温井選手▶



区間	選手	所属
1区	中村 実莉	豊岡中2年
2区	ヌーエス 茅野レオン	東部小6年
3区	氏原 梨結	豊田東小6年
4区	宮嶋 萌衣	常葉大附属菊川高1年
5区	河合 拓杜	浜松開誠館高2年
6区	鈴木 清志	浜松ホトニクス
7区	温井 康太	神明中3年
8区	山中 穂乃花	豊田中2年
9区	星野 梨空	東部小6年
10区	吉長 日向子	浜松ホトニクス
11区	永井 優汰	浜松商業高2年
12区	岐下 拓斗	NTN